

平成30年4月19日

報道関係各位

独立行政法人日本スポーツ振興センター

**平昌 2018 冬季オリンピック・パラリンピック
ハイパフォーマンス・サポートセンター報告について**

日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL 理事長：大東和美）は、平昌 2018 冬季オリンピック・パラリンピックにおいて、選手やスタッフが競技へ向けた最終準備を行うための医・科学・情報サポート拠点（ハイパフォーマンス・サポートセンター：HPSC）を設置しました。利用実績及び利用状況等について、下記のとおりご報告いたします。

記

■ 利用実績について

①オリンピック(Mountain Cluster)

- ・延べサポート利用者数：871名（2018年2月4日～2月25日）
- ・延べ来館者数：569名
- ・平均来館者数：約26名／日（最高：49名／日）
- ・サポート内容別利用者数：

（単位：名）

サポート内容	コンディショニング ミール	リハビリ ミールボックス	メディカル	ケア	リハビリ プール	トレーニング	心理	ミーティング	リハビリ セッション	用具調整	合計
延べ 人数	476	46	9	48	67	114	17	60	21	13	871

※バイアスロンを除く、雪上系の出場競技団体が利用

②オリンピック(Coastal Cluster)

- ・延べサポート利用者数：1,216名（2018年2月4日～2月25日）
- ・延べ来館者数：505名
- ・平均来館者数：約23名／日（最高：53名／日）
- ・サポート内容別利用者数：

（単位：名）

サポート内容	コンディショニング ミール	リハビリ ミールボックス	メディカル	ケア	リハビリ プール	トレーニング	ミーティング	映像 分析	多目的	合計
延べ 人数	318	585	4	4	72	187	7	32	7	1,216

※氷上系の出場全競技団体が利用

③パラリンピック

- ・延べサポート利用者数：896名（2018年3月4日～3月18日）
- ・延べ来館者数：186名
- ・平均来館者数：約12名／日（最高：29名／日）
- ・サポート内容別利用者数：

（単位：名）

サポート内容	コンディショニング ミール	リカバリー ミールボックス	メディカル	ケア	リカバリー プール	トレーニング	心理	用具 調整	合計
延べ 人数	141	647	2	21	31	33	14	7	896

※出場全競技団体が利用

■ ハイパフォーマンス・サポートセンターを活用した選手等の主な意見

● オリンピック

<選手>

- ・交代浴やマッサージ、ジム、食事と選手のコンディション維持に欠かせないものが揃っていた。
- ・選手村内のジムが混雑などで使えないときに、使わせてもらい予定通りのトレーニングができた。
- ・いつも食べている日本食で体に負担が少なかった。
- ・日本に戻ったような感覚になり、いつものペースになれた。

<スタッフ>

- ・村内は、必要なトレーニング器具が不足していたことから、集中できる環境が整えられている HPSC の存在が大きかった。
- ・食事、選手とのコミュニケーションの場として、有効に利用できた。

● パラリンピック

<選手>

- ・手取り足取り、選手第一にしてくださった。
- ・トレーニングやリカバリーなどハードなスケジュールの中でコンディション調整にとっても役立った。
- ・リカバリーミールボックスはありがたかった。
- ・突然の予定変更にも柔軟に対応してくれた。
- ・日本食がおいしく、また、交代浴が良かった。
- ・このような機能が選手村内にあるのが理想だと思う。

<スタッフ>

- ・選手村から近く、徒歩で行ける距離に設置されていることが良かった。
- ・選手本人が直接申し込めれば、もっと利用しやすいと感じた。

※ハイパフォーマンス・サポートセンターは、スポーツ庁委託事業『ハイパフォーマンス・サポート事業』の一環として、日本スポーツ振興センターが設置したものです。